

## 6 超音波センター



超音波センターは日本超音波医学会の専門医研修施設で、指導医・専門医、超音波（指導）検査士が中心となり、各診療科と連携して精度の高い超音波診断を目指している。緊急時や紹介患者の即日検査では院内外の依頼に臨機応変に対応している。2012年以降は肝線維化進展度診断を可能とする肝硬度計測（エラストグラフィ）や2022年4月保険適応となった肝臓脂肪定量（超音波減衰法）では、保険収載プロセスにおいて貢献し診断に寄与している。

腹部造影超音波検査は、使用する超音波造影剤による副作用はほとんどなく（0.5-1%）、呼気排泄のためCTやMRIの造影剤が使用困難な腎障害患者にも使用できる。高い空間・時間分解能で肝腫瘍などの診断が可能であり、非アルコール性脂肪肝炎（NASH）の診断や肝細胞癌の治療効果判定、転移性肝癌の術前検査や化学療法後の経過観察も行っている。さらに2022年度より脾腫瘍に対する造影超音波検査の保険収載に向けての多施設研究にも参加している。

心臓超音波検査ではストレイン解析や3D解析、運動負荷法の導入により、非侵襲的に病態の把握、早期発見が可能になった。三尖弁Spiral suspension法では多施設研究へ参加し外科治療に貢献、経皮的動脈弁植え込み術、経皮的僧帽弁接合不全修復法を導入した新たな治療法においても貢献している。新型コロナウイルス感染症の影響により停滞していた検査件数は、若干回復傾向にある。中でも、下肢静脈はここ数年増加傾向にあるが、2022年度はガイドライン改訂の影響もありさらに増加している。

6-1 年度別超音波検査件数

(件)

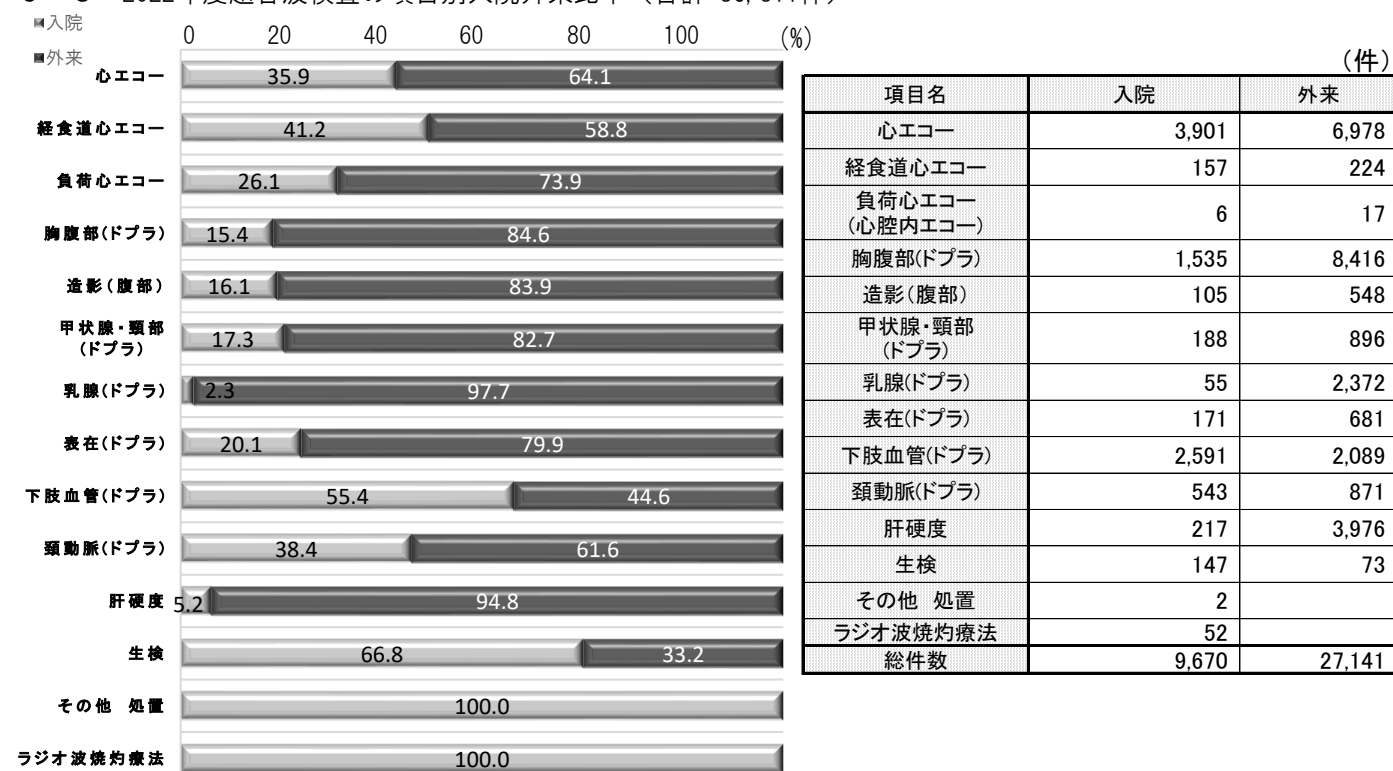
区分	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2022年度 構成比率 (%)
入院	9,724	10,046	9,484	8,486	9,670	26.3
外来	29,945	29,503	27,326	27,185	27,141	73.7
合計	39,669	39,549	36,810	35,671	36,811	100.0

6-2 年度別超音波検査入院外来別点数

(点)

区分	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2022年度 構成比率 (%)
入院	8,007,780	8,307,790	7,714,300	6,936,100	7,694,610	32.4
外来	18,454,080	18,207,720	16,567,520	16,188,230	16,061,020	67.6
合計	26,461,860	26,515,510	24,281,820	23,124,330	23,755,630	100.0

6-3 2022年度超音波検査の項目別入院外来比率（合計 36,811件）



6-4 年度別超音波検査別件数

(件)

区分	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2022年度 構成比率(%)
心エコー	11,581	12,044	11,647	11,057	10,879	29.6
経食道心エコー	563	550	394	371	381	1.0
負荷心エコー (心腔内エコー)	14	14	19	11 (2)	23 (0)	0.1
胸腹部	11,120	11,062	9,992	9,216	9,951	27.0
(ドブラ)	(6,206)	(6,488)	(5,834)	(5,562)	(5,831)	
甲状腺・頸部	1,250	1,095	1,020	1,029	1,084	2.9
(ドブラ)	(342)	(282)	(321)	(324)	(366)	
乳腺	2,697	2,652	2,483	2,509	2,427	6.6
(ドブラ)	(64)	(37)	(28)	(15)	(11)	
表在	811	720	744	793	852	2.3
(ドブラ)	(395)	(353)	(385)	(416)	(456)	
下肢血管	(4,098)	(4,224)	4,208	4,259	4,680	12.7
(ドブラ)	(4,098)	(4,224)	(4,208)	(4,259)	(4,680)	
頸動脈	1,957	1,841	1,718	1,588	1,414	3.8
(ドブラ)	(1,957)	(1,841)	(1,718)	(1,588)	(1,414)	
肝硬度	4,359	4,268	3,710	3,997	4,193	11.4
生検	337	335	204	212	220	0.6
RFA・その他処置	60	50	62	51	54	0.1
造影(腹部)	822	694	609	578	653	1.8
合計	39,669	39,549	36,810	35,671	36,811	100.0

6-5 超音波検査別件数の年度別推移

(件)

